

キーワード「墓石 カビ 取り」

▼記事タイトル

墓石のカビ取りは自分でできる？正しい掃除方法と注意点

▼ディスクリプション(検索結果に説明文として表示する文章)

墓石のカビ取りを自分で行う方へ。？水拭き・重曹・専用洗剤を使った掃除方法を詳しく解説！強力な洗剤や金属ブラシの使用などNGなカビ取り方法や、プロに依頼するメリットまで紹介します。大切なお墓をキレイに保つコツをチェック！

▼記事本文

1. 墓石に生えるカビとは？原因と影響を解説

1.1 墓石にカビが生える理由

墓石にカビが生えるのは、湿気や汚れが大きな原因です。特に以下のような条件がそろくと、カビが発生しやすくなります。

① 湿気が多い環境

墓地は屋外にあるため、雨や湿気の影響を受けやすいです。特に次のような環境ではカビが発生しやすくなります。

- 樹木が多く、日当たりが悪い場所 → 乾燥しにくく、湿気がこもる
- 川や池の近く → 水分が多く、カビが育ちやすい
- 梅雨や夏の高温多湿な時期 → カビの繁殖が活発になる

② 墓石に汚れが溜まる

墓石についた汚れが、カビの栄養源になります。特に以下のような汚れは要注意です。

汚れの種類	カビ発生リスク
花や線香の灰	有機物が多く、カビが繁殖しやすい

雨や砂ぼこり 風で運ばれた汚れが墓石に付着

水アカやコケ 湿気を含み、カビの温床になりやすい

③ 墓石の素材による影響

墓石の種類によっても、カビの生えやすさが変わります。

例えば、御影石は表面がツルツルしていて比較的カビが生えにくいですが、多孔質（穴が多い）な石材は湿気を吸収しやすく、カビが発生しやすいです。

特に、黒系の墓石はカビや水アカが目立ちやすいため、定期的なお手入れが必要です。

1.2 カビが墓石に与える悪影響

墓石にカビが生えると、美観を損ねるだけでなく、石材そのものを傷める原因にもなります。ここでは、墓石のカビが引き起こす主な影響を解説します。

① 見た目が悪くなる

カビは黒や緑、赤茶色などの汚れとして現れます。

特に 黒や緑のカビは遠目でも目立ちやすく、せっかくのお墓が汚れて見えてしまう ことも。

また、白っぽい墓石に黒カビがつくと、コントラストが強くなり一層目立ちます。

② 石材を劣化させる

カビが発生すると、石の表面に根を張り、内部にまで浸透することがあります。

特に、カビと一緒に発生しやすいコケや水アカがあると、石材が水分を含みやすくなり、ひび割れや剥がれの原因になることも。

長期間放置すると、墓石がボロボロになってしまう可能性もあるので注意が必要です。

③ 繰り返し発生しやすくなる

一度カビが生えると、カビの胞子が墓石に残り、再発しやすくなります。

特に、掃除をしても完全に除去できていないと、またすぐにカビが発生してしまいます。

こまめな掃除と予防対策が大切です。

墓石のカビを放置すると、見た目だけでなく石材そのものに悪影響を与えてしまいます。

2. 自分でできる！墓石のカビ取り方法

墓石のカビは、軽度なものなら自分で掃除できます。

ここでは、状況に応じたカビ取り方法を紹介します。

2.1 軽いカビなら水拭きでOK

カビが発生して間もない場合は、水拭きだけで落とせることがあります。
以下の手順で優しくお手入れしましょう。

① 準備するもの

- きれいな柔らかい布
- バケツに入れた水
- 使い古しの歯ブラシ(細かい部分用)

② 掃除の手順

1. 水で湿らせた布で、カビを優しく拭き取る。
2. 細かい部分は歯ブラシを使い、優しくこする。
3. 乾いた布で水分をしっかりと拭き取る。

ポイント！

ゴシゴシ強くこすらず、優しく拭くことが大切です。

墓石を傷めないように、金属ブラシや硬いスポンジの使用は避けましょう。

2.2 重曹や家庭用洗剤を使って洗う

水拭きだけでは落ちないカビは、重曹や家庭用洗剤を使うのがおすすめです。
ただし、洗剤の種類や使い方を間違えると、墓石を傷めることがあるので注意が必要です。

① 準備するもの

- 重曹 または 中性洗剤(台所用洗剤など)
- 水
- スポンジや柔らかい布
- 使い古しの歯ブラシ(細かい部分用)

② 掃除の手順

▼重曹を使う場合

1. 重曹と水を **1:2** の割合で混ぜ、ペースト状にする。
2. スポンジや布に重曹ペーストをつけ、カビ部分を優しくこする。
3. 水でしっかり洗い流し、乾いた布で水分を拭き取る。

▼中性洗剤を使う場合

1. 水で薄めた中性洗剤をスポンジにつける。
2. カビの部分を優しく拭く。
3. しっかり水で洗い流し、乾いた布で拭き取る。

ポイント！

- 強力な酸性・アルカリ性洗剤は**NG**！ 石材を傷める原因になります。

- 水でしっかり洗い流すことが大切。洗剤が残ると、シミや変色の原因になります。

2.3 市販の墓石専用クリーナーの活用

「自分で掃除しても落ちない」「しつこいカビをキレイにしたい」という場合は、市販の墓石専用クリーナーを使うのが効果的です。

① 墓石専用クリーナーとは？

墓石専用クリーナーは、墓石を傷めにくい成分で作られた洗浄剤です。一般的な家庭用洗剤よりもカビやコケをしっかり落とし、墓石本来の輝きを取り戻す効果があります。

② 使い方の手順

1. 墓石専用クリーナーをカビ部分にスプレーする。
2. 数分置いて汚れを浮かせる。(商品によって異なるので説明書を確認)
3. 柔らかいスポンジや布で軽くこする。
4. たっぷりの水で洗い流し、乾いた布で拭き取る。

ポイント！

- クリーナーによって成分が異なるので、使用前に必ず説明書を確認する。
- 強力なクリーナーを使用する際は、手袋をつけて作業する。
- 研磨剤入りのクリーナーは墓石を傷めることがあるので注意！

3. やってはいけない墓石のカビ取り方法

墓石のカビを落とそうとして、誤った方法で掃除すると、かえって墓石を傷めてしまうことがあります。

ここでは、やってはいけない墓石のカビ取り方法を紹介します。

3.1 強力な洗剤や漂白剤の使用

「カビには漂白剤や強力な洗剤が効果的なのでは？」と思う方もいるかもしれませんが、墓石にとっては大きなダメージになります。

① 強酸性・強アルカリ性の洗剤は墓石を傷める

市販のカビ取り剤や漂白剤は、強力な酸性・アルカリ性成分を含んでいるものが多いです。これらの成分は、墓石の表面を傷めたり、変色させたりする原因になります。

洗剤の種類

墓石への影響

塩素系漂白剤(カビ取り剤)

墓石を変色・白濁させる

酸性洗剤(トイレ用洗剤など)

石の成分と化学反応を起こし、溶けることがある

アルカリ性洗剤(油污れ用)

石の表面を傷つけ、シミができる可能性あり

墓石は一度傷むと、修復が難しいため、強力な洗剤の使用は絶対に避けましょう。

② 漂白剤は墓石のシミや変色の原因に

塩素系漂白剤(カビキラーなど)は、カビを落とす効果はありますが、墓石に染み込んでしまい、白く変色することがあります。

また、石材の種類によっては表面がザラザラになったり、ツヤが失われたりする ことも。

③ 使うなら「中性洗剤」か「墓石専用クリーナー」

どうしても洗剤を使いたい場合は、必ず「中性洗剤」か「墓石専用クリーナー」を使用しましょう。特に墓石専用のクリーナーは、石材を傷めにくく作られているため、安全に使えます。

3.2 たわしや金属ブラシでの擦りすぎ

「しつこいカビだから、ゴシゴシこすって落とそう!」というのは、墓石にはNGです。間違った道具を使うと、墓石の表面を傷める原因になります。

① 金属ブラシや硬いたわしは墓石を傷つける

金属ブラシや硬いたわしでカビをこすると、墓石の表面に細かい傷がつきます。この傷に汚れや水分が入り込み、さらにカビが発生しやすくなる ため、逆効果になってしまいます。

使用NGな道具

墓石への影響

金属ブラシ

石材に深い傷がつく

ナイロンたわし(硬いもの)

細かい傷ができ、カビが付きやすくなる

メラミンスポンジ

墓石のツヤを剥がしてしまう

② 強くこするのもNG！優しく拭き取ることが大切

たとえ柔らかいスポンジや布を使っているとしても、強くこすりすぎると墓石を傷める原因 になります。特に、黒い墓石や光沢のある墓石は、傷が目立ちやすいので注意しましょう。

③ 正しい掃除方法

- 布やスポンジは柔らかいものを選ぶ(マイクロファイバークロスなど)
- 細かい部分は歯ブラシで優しくこする
- 水や中性洗剤を使い、力を入れすぎないようにする

墓石のカビ取りは、強い洗剤や硬いブラシを使うのではなく、優しく丁寧に行うことが大切です。

4. 墓石のカビ取りをプロに依頼するメリットとは？

墓石のカビ取りは自分でも可能ですが、長年蓄積したカビやしつこい黒ずみは、プロに依頼するのが確実です。

ここでは、プロの墓石クリーニングのメリットを詳しく解説します。

4.1 専門の洗浄剤で墓石を傷めずカビを除去

プロの墓石クリーニングでは、専用の洗浄剤を使用し、石材を傷めることなくカビを徹底的に除去します。

① 墓石専用の洗浄剤を使用するから安全！

家庭用のカビ取り剤や漂白剤は、墓石の表面を傷つけたり、色ムラを引き起こしたりする可能性があります。

一方、プロの業者が使用する洗浄剤は 石材の種類に適した成分で作られており、墓石を傷めるリスクがほぼありません。

さらに、洗浄後に成分が墓石に残りにくいよう設計されているため、墓石の劣化や変色を防ぎながら安全にカビを取り除けます。

② 高圧洗浄や特殊技術で徹底洗浄

墓石の表面だけでなく、目地の隙間や彫刻部分などの細かい部分に入り込んだカビも、プロならしっかり除去可能 です。

特に、以下のような方法でカビを徹底的に落とします。

プロの洗浄方法

特徴・効果

高圧洗浄機

強い水圧でカビを根こそぎ洗い流す

スチーム洗浄

高温の蒸気でカビを浮かせて取り除く

専用ブラシでの手洗い

デリケートな部分は手作業で丁寧に洗浄

また、墓石の種類や状態に応じて洗浄方法を調整 するため、余計なダメージを与えずにカビを完全に取り除けるのがプロの強みです。

③ 長期間放置した頑固なカビもスッキリ！

長年放置されたカビは、墓石の内部に根を張っていることがあります。
こうなると 表面を拭くだけでは落ちず、素人では完全に除去するのが困難です。
プロに依頼すれば、石材の内部に入り込んだカビまで徹底的に洗浄 できるので、再発のリスクも軽減できます。

4.2 撥水加工でカビの再発を防ぐ

墓石のクリーニング後、プロの業者は「撥水（はっすい）加工」を施すことで、カビの再発を防ぎます。

この撥水加工には、単にカビを防ぐだけでなく、お墓全体の保護効果もあります。

① 撥水加工の仕組みと効果

墓石の表面に撥水コーティングを施すことで、水や汚れが石材に浸透しにくくなります。
これにより、次のようなメリットがあります。

撥水加工の効果

具体的なメリット

水を弾く

墓石が湿りにくくなり、カビやコケの繁殖を防ぐ

汚れを付きにくくする

雨や砂ぼこりが墓石に染み込みにくくなり、掃除が楽になる

墓石の劣化を防ぐ

石材が水分を吸収しにくくなり、ひび割れやシミを防ぐ

また、撥水加工には「光沢を保つ」効果もあり、新品のような美しい状態を長くキープできます。

② 撥水加工の持続期間とメンテナンス

一般的な撥水加工は、1回の施工で約3～5年ほど効果が持続 と言われています。しかし、墓石の設置環境や使用するコーティング剤によって持続期間は異なるため、定期的なメンテナンスが推奨されます。

特に、以下のような環境では、撥水加工をこまめにチェックするとよいでしょう。

- 湿気の多い場所（池や川の近く）
- 木々が多く、苔が生えやすい環境
- 台風や大雨の影響を受けやすい地域

「せっかく掃除をしたのに、またすぐにカビが生えてしまった…」という方は、撥水加工を施すことでお墓の美しさを長く保つことができます。

4.3 手間いらずで美しい墓石をキープ

プロに依頼すれば、掃除の手間を省きながら、いつでも美しいお墓をキープできます。特に、次のような方にはプロのサービスが最適です。

① 遠方に住んでいて、なかなかお墓の掃除に行けない

「実家のお墓が遠くて、なかなか掃除に行けない…」という方は少なくありません。そんな場合でも、プロに依頼すれば、お墓を定期的にクリーニングしてもらえます。

最近では、作業前後の写真を送ってくれるサービス も増えており、遠方に住んでいる方でも安心して依頼できます。

② 体力的にお墓の掃除が難しい

お墓の掃除はしゃがんだり、力を入れて擦ったりと、意外と体力を使う作業 です。特に 高齢の方や腰痛を抱えている方にとっては、負担が大きい もの。プロに任せれば、無理をせずにお墓を清潔に保てるので安心です。

③ 定期的なメンテナンスでカビの発生を防げる

一度プロに依頼すると、定期的なメンテナンスプランを利用できることもあります。

- 年に1回クリーニングをもらう
- カビ取りと一緒に、墓石の補修や目地のメンテナンスも依頼する

このように、継続的にケアすることで、カビの再発を防ぎ、墓石の寿命を延ばすことができます。

プロに依頼すれば、お墓を長く美しく保てる！

プロの墓石クリーニングを利用すると、カビを根本から除去し、再発を防ぐことができます。
「自分で掃除してもなかなかキレイにならない...」という方は、一度プロのクリーニングを試してみるのもおすすめです！

5. お墓のカビを防ぐための予防策

墓石のカビは、一度落としても放置すると再発しやすいものです。
日頃のちょっとした工夫で、カビの発生を防ぎ、お墓をキレイに保つことができます。
ここでは、効果的なカビ予防の方法を紹介します。

5.1 こまめな掃除でカビを防ぐ

カビの最大の原因は「汚れ」と「湿気」。こまめに掃除をすることで、カビが生えにくい環境を作ることができます。

① 月に1回の水拭きがおすすめ

墓石は、汚れが溜まる前に定期的に水拭きするのが理想です。

- 軽いホコリや砂ぼこりは、水拭きだけで簡単に落とせる
- 水分を拭き取ることで、カビやコケの発生を抑えられる

掃除の手順

1. 柔らかい布を水で湿らせ、墓石を軽く拭く
2. 細かい部分は使い古しの歯ブラシで優しくこする
3. 乾いた布でしっかり水分を拭き取る

ポイント！

- お墓参りのついでにサッと拭くだけでも、カビ予防になる
- 汚れがひどくなる前に、こまめに手入れをするのが大切

5.2 墓石のコーティングで汚れにくくする

「掃除の手間を減らしたい」「長期間カビを防ぎたい」という方には、墓石のコーティングが効果的です。

① コーティングの効果

墓石の表面にコーティングを施すことで、以下のようなメリットがあります。

効果		メリット
水を弾く	墓石が湿りにくくなり、カビやコケが生えにくくなる	
汚れを防ぐ	ホコリや水アカが付きにくく、掃除が楽になる	
墓石の劣化を防ぐ	石材内部に水が染み込みにくくなり、ひび割れを防げる	

コーティングをすると、汚れが付きにくくなり、掃除の回数を減らせるのも大きなメリットです！

② コーティングの種類

墓石用のコーティングには、大きく分けて以下の2種類があります。

種類	特徴	効果の持続期間
撥水コーティング	水を弾き、汚れを防ぐ	約3～5年
防汚コーティング	汚れが付きにくくなり、カビの発生を抑える	約5～7年

③ コーティングを依頼するタイミング

- 墓石のカビをしっかりと落とした後に施工するのがベスト！
- 長期間キレイに保ちたいなら、プロに依頼して施工するのがおすすめ。

「毎回の掃除が大変…」という方は、コーティングを検討すると良いでしょう！

5.3 風通しをよくするポイント

墓石の周りが湿気でこもると、カビが発生しやすくなります。
日頃から風通しをよくすることで、カビの発生を抑えることができます。

① 墓石の周りを整理整頓する

- 枯れた花や落ち葉は、こまめに取り除く(湿気の原因になる)
- 線香やろうそくの灰も掃除する(汚れが溜まるとカビの温床になる)

- 墓石の周りに不要なものを置かない(風通しが悪くなる)

② 周囲の環境をチェックする

- 草が生い茂っていると湿気がこもるため、草刈りをする
- 木の枝が墓石にかかっている場合は剪定する(日当たりを確保)
- 墓石の周囲に水たまりができやすい場合は、排水を工夫する

③ 雨の日の後は、墓石を乾かす

雨の後や湿度が高い日は、墓石が湿りやすくなります。

- 晴れた日に墓参りをして、水分を拭き取るとカビ予防になる
- 可能なら、布で乾拭きをしておくと良い

6. まとめ: 墓石のカビ取りでお墓を美しく保とう

墓石のカビは、湿気や汚れが原因で発生しやすく、一度生えたと再発しやすいものです。しかし、適切な掃除と予防策を実践することで、長くキレイな状態を保つことができます。

今回の記事のポイント

軽いカビは水拭きや中性洗剤で落とせる
強力な洗剤や金属ブラシは墓石を傷めるため**NG**！
落ちにくいカビは、プロの洗浄で安全に除去できる
撥水コーティングを施すと、カビが生えにくくなる
こまめな掃除や風通しの確保がカビ予防のカギ

「大切なお墓を守るために、自分でできるお手入れを心がけ、必要に応じてプロの力も活用しましょう！」

お墓のカビ取りなら「お墓掃除本舗」にお任せください！

「自分で掃除してもカビが落ちない...」
「お墓の手入れが大変で、なかなか時間が取れない...」

そんなお悩みは、お墓掃除本舗 にお任せください！

お墓掃除本舗の特徴

プロ仕様の専用洗浄剤で墓石を傷めずにカビを徹底除去
撥水加工でカビの再発を防ぎ、キレイな状態を長期間キープ
全国対応！遠方に住んでいる方でも安心して依頼できる
年間管理プランもご用意！定期的なメンテナンスでお墓を美しく維持

お墓のカビ取りにお悩みの方は、ぜひ「お墓掃除本舗」にご相談ください！
詳しいサービス内容や料金は、公式サイトをご確認ください。

<https://www.ohaka-daikouhonpo.com/>